

電気学会 電気規格調査会標準規格

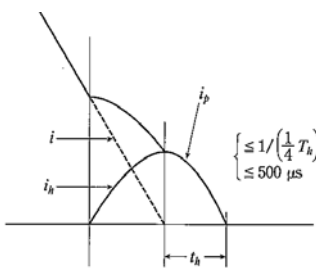
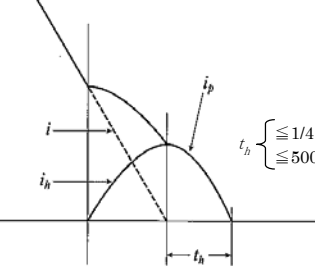
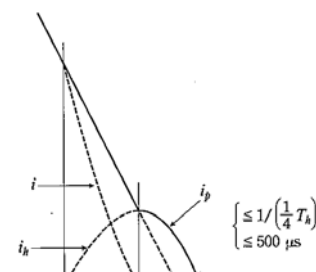
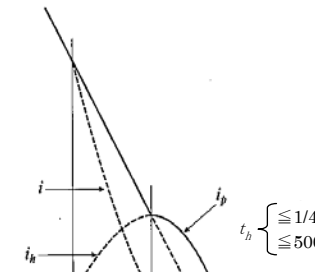
JEC-2300-2010 正誤票-1

「交流遮断器」

発行日:2012年12月3日

番号	頁	箇所	誤	正
1	37	21行目	s	(1)
2	58	1行目	操作電圧および操作圧力は,	操作電圧, 操作圧力および消弧媒体圧力は,
3	74	14行目	6.2に準じて行う。	6.2に準じて行う。ただし、SF <sub>6</sub> ガスの気密試験においては 大気へのガス漏れ量は1%/年以下とする。
4	76	1行目 解説 52	T <sub>1</sub> および T <sub>3</sub> として 5分間を採用した理由は、油絶縁機器 での実績のある数値と同等性能を遮断器で確保するため には 1.5U <sub>r</sub> で1分以上の印加とすればよく、試験の便宜性 と余裕を考慮して、電圧印加パターンは、1.5U <sub>r</sub> で5分・2U <sub>r</sub> で1分・1.5U <sub>r</sub> で5分とした。 ここで、U <sub>r</sub> は系統の最高電圧/√3とする。	T <sub>1</sub> および T <sub>3</sub> として 5分間を採用した理由は、油絶縁機器 での実績のある数値と同等性能を遮断器で確保するため には 1.5Eで1分間以上の印加とすればよく、試験の便宜性 と余裕を考慮して、電圧印加パターンは、1.5Eで5分・2E で1分・1.5Eで5分間とした。 ここで、Eは(系統の最高電圧)/√3とする。なお、系統の 最高電圧は公称電圧×1.15/1.1である。ただし 500 kV系 統の最高電圧は 550 kVとする。

番号	頁	箇所	誤	正																																																
5	91	附図 11	端子側	端子間																																																
6	106	附図 20	<p>附図 20</p>	<p>附図 20</p>																																																
7	108	下から 1 行目	注(1) 電圧源電流の重畳時点は、電圧源電流周期 200 $\mu$ s 以下では	注(1) 電圧源電流だけの期間が 200 $\mu$ s 以下では																																																
8	109	下から 6 行目	$\beta$ : 電流源回路電流位相と電圧源回路電圧位相の差	$\beta$ : 電流源回路電圧位相と電圧源回路電圧位相との差																																																
9	110	10 行目	供試遮断器は、その標準動作責務が一般用(A)または高速度再閉路用(R)のいずれかによって、	供試遮断器は、その標準動作責務が一般用(A)もしくは(B)または高速度再閉路用(R)のいずれかによって、																																																
10	110	附表 6	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験責務</th> <th colspan="2">合成試験</th> <th colspan="2">定格動作責務</th> </tr> <tr> <th>章・節</th> <th>方法</th> <th>O - (t または t1) - CO - t3 - CO</th> <th>CO - t3 - CO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T100a</td> <td>6.9.11</td> <td></td> <td>Os - t3 - Os - t3 - Os</td> <td></td> </tr> <tr> <td>異相地絡遮断</td> <td>8.9.10</td> <td></td> <td>Os</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験責務	合成試験		定格動作責務		章・節	方法	O - (t または t1) - CO - t3 - CO	CO - t3 - CO	T100a	6.9.11		Os - t3 - Os - t3 - Os		異相地絡遮断	8.9.10		Os							<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験責務</th> <th colspan="2">合成試験</th> <th colspan="2">定格動作責務</th> </tr> <tr> <th>章・節</th> <th>方法</th> <th>O - (t または t1) - CO - t3 - CO</th> <th>CO - t3 - CO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T100a</td> <td>6.9.11</td> <td></td> <td>Os, Os, Os</td> <td>Os, Os</td> </tr> <tr> <td>異相地絡遮断</td> <td>8.6.10</td> <td></td> <td>Os, Os</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験責務	合成試験		定格動作責務		章・節	方法	O - (t または t1) - CO - t3 - CO	CO - t3 - CO	T100a	6.9.11		Os, Os, Os	Os, Os	異相地絡遮断	8.6.10		Os, Os						
試験責務	合成試験		定格動作責務																																																	
	章・節	方法	O - (t または t1) - CO - t3 - CO	CO - t3 - CO																																																
T100a	6.9.11		Os - t3 - Os - t3 - Os																																																	
異相地絡遮断	8.9.10		Os																																																	
試験責務	合成試験		定格動作責務																																																	
	章・節	方法	O - (t または t1) - CO - t3 - CO	CO - t3 - CO																																																
T100a	6.9.11		Os, Os, Os	Os, Os																																																
異相地絡遮断	8.6.10		Os, Os																																																	

番号	頁	箇所	誤	正
11	110	附表 6	<p><b>備考</b> 試験動作責務 T100s における投入電流, および試験動作責務 T100a における百分率直流分については, 本文 6.9.11 備考(6) に準じる。</p>	<p><b>備考 1</b> 試験動作責務 T100s における投入電流, および試験動作責務 T100a における百分率直流分については, 本文 6.9.11 備考(6) に準じる。</p> <p><b>2</b> 高速度再閉路として試験を実施する場合は, 標準動作責務に従い, t3 は, 1 分間とすることが望ましいが, 試験遂行上の制約などを考慮し 3 分間とする。</p>
12	111	附図 23	 <p> <i>i</i> : 電流源電流  <i>i<sub>h</sub></i> : 重畳電流  <i>i<sub>p</sub></i> : 供試遮断器に流れる電流  <i>T<sub>h</sub></i> : 重畳電流の1周期の時間  <i>t<sub>h</sub></i> : 重畳電流だけによってアークが供給される時間 </p> <p><math>\left\{ \begin{array}{l} \leq 1/\left(\frac{1}{4} T_h\right) \\ \leq 500 \mu s \end{array} \right.</math></p> <p>附図 23 附図 22 の電流重畳機構における重畳のタイミング</p>	 <p> <i>i</i> : 電流源電流  <i>i<sub>h</sub></i> : 重畳電流  <i>i<sub>p</sub></i> : 供試遮断器に流れる電流  <i>T<sub>h</sub></i> : 重畳電流の1周期の時間  <i>t<sub>h</sub></i> : 重畳電流だけによってアークが供給される時間 </p> <p><math>\left\{ \begin{array}{l} \leq 1/4 T_h \\ \leq 500 \mu s \end{array} \right.</math></p> <p>附図 23 附図 22 の電流重畳機構における重畳のタイミング</p>
13	112	附図 25	 <p> <i>i</i> : 電流源電流  <i>i<sub>h</sub></i> : 重畳電流  <i>i<sub>p</sub></i> : 供試遮断器に流れる電流  <i>T<sub>h</sub></i> : 重畳電流の1周期の時間  <i>t<sub>h</sub></i> : 重畳電流だけによってアークが供給される時間 </p> <p><math>\left\{ \begin{array}{l} \leq 1/\left(\frac{1}{4} T_h\right) \\ \leq 500 \mu s \end{array} \right.</math></p> <p>附図 25 附図 24 の電流重畳機構における重畳のタイミング</p>	 <p> <i>i</i> : 電流源電流  <i>i<sub>h</sub></i> : 重畳電流  <i>i<sub>p</sub></i> : 供試遮断器に流れる電流  <i>T<sub>h</sub></i> : 重畳電流の1周期の時間  <i>t<sub>h</sub></i> : 重畳電流だけによってアークが供給される時間 </p> <p><math>\left\{ \begin{array}{l} \leq 1/4 T_h \\ \leq 500 \mu s \end{array} \right.</math></p> <p>附図 25 附図 24 の電流重畳機構における重畳のタイミング</p>
14	115	附図 31	$\omega_0 = (1/L_v) (1/C_h + 1/C_v) - (R_v / (2L_v))^2$	$\omega_0 = \sqrt{(1/L_v)(1/C_h + 1/C_v) - (R_v / (2L_v))^2}$